

のぞいてみよう！

となりの協調学習！（５）



平成 27 年 11 月 12 日
安芸太田町教育委員会（担当：萩原英子）

前号から久しぶりの発行となりました。その間、町内では多くの学校・先生方が協調学習に取り組んでおられます。2学期以降の「となりの協調学習」をご紹介します！

どの取組からも学ぶことがたくさんあります。ぜひ、今後の授業づくり、教材づくりに生かしてください。今号からしばらく紹介しようと思います！

少人数・複式学級での授業（小学校編）

安芸太田町ならではの授業です。複式学級または単式でも少人数学級での実践例です。

☆6年算数「合同な図形の複合問題」【津浪小：三宅教諭】

複式授業の片方を知識構成型ジグソー法で実施。教材は、教材 DVD に載っています。投げ入れ教材として、5・6年生で使えると思います。津浪小の3人の6年生も、3つの考え方を対話しながら統合し、かなり手ごたえのあるジグソー課題を解くことができました！



クロストークで説明しています。3つの視点を組み合わせるのが難しい！でも、解決！

☆1・2年国語「海のかくれんぼ」（説明文）【津浪小：中原教頭】

1・2年生合わせて3人なので、今回は、1年生の説明文を、1年、2年それぞれのねらいを設定して、1時間で読み解くという教材を作成されました。説明文で紹介されている3つの例から、筆者の伝えたかった「まとめの文」を作るという課題は、大変おもしろい展開でした。教材は、新しく作成されたものですので、共有フォルダの協調学習のフォルダに入れてあります。低学年の先生！いかがですか？



最後のまとめの文をどう書くかについて意見交流をしています。1年生もしっかり聞いています。

☆4年算数「およその数」【殿賀小：中川教諭】

複式授業の片方を知識構成型ジグソー法で実施。教材は、教材 DVD に載っています。今回、教材研究をされ、児童実態に合わせてエキスパート資料にオリジナルの図を付け加えました。CoREF の DVD 等に載っている教材は、ある程度検証されたものですが、指導案・教材を自分のものにして授業しないと、なかなか期待する「協調的な学び」にならないこともあります。やはり目の前の児童・生徒ならどう取り組むだろうとシミュレーションすることは大切です。



こちらがジグソー活動中！身を乗り出して、対話しています！

裏面に続きます。

複式・少人数での知識構成型ジグソー法は難しいのでは？とよく聞かれます。確かに3つの資料を分担するという時点で、3人は必要になります。(昨年、免田先生は1人学年でジグソー法を実践されています！)それもエキスパートを一人で分担するいわゆる「一人エキスパート」。これはグループで相談することができないので、一人では難解な場合も当然予想されます。しかし、今回紹介した3つの実践はどれも「一人エキスパート」で取り組まれました。もちろん、資料の難易度や作り方の工夫、また、普段はエキスパート活動では関わりを最低限にしている指導者が必要に応じて個に関わるということも必要になるかもしれません。そういった工夫をしながらも、3人での知識構成型ジグソー法は成り立つと感じています。また、ジグソー活動の時間とクロストークの時間について言うと、3人の場合は、他のグループの考えを聞く必要がないため、授業の中でどう位置づけるかはちょっと考えなければなりません。

ジグソー活動の時間は、児童に任せてしまい、先生は静観。複式の場合は、間接指導にしてしましましょう。そして、クロストークの時に先生が「わたり」から戻ってきて、児童の考えの聞き役になるとよいと思います。先生も含めてのクロストークをするイメージです。案外、指導者の不要な支援が入らないため、児童の主体的な対話が引き出される可能性は高いと思います。



【複式授業での知識構成型ジグソー法の一例】(※萩原私案)

A 学年【通常の流れ】	わたり 色:直指導	B 学年【知識構成型ジグソー法】
①前時の復習など		①本時の課題(めあて)の共有 ※この後の②③の活動の流れを丁寧に提示する必要あり。
②本時の課題(めあて)の共有		②エキスパート活動
③自力解決		
④練り合いとまとめ		③ジグソー活動
⑤適用題		④クロストーク
⑥振り返りなど		⑤個人思考・振り返りなど

ここで必要なのは、「ジグソー法における各活動の段階で、児童・生徒が完全に理解、納得していなくても大丈夫!」と思って授業に臨むことです。エキスパート資料の理解を完璧にしないといけない、ジグソーで正解にたどり着いていないとダメだ…とってしまうと、子供たちの思考に任せきれなくなってしまいます。うまくいかないからこそ対話が始まる—「よくわからない」「なんで?」と子供たちが言い始める瞬間がそこにはあるはず。そして、どんなところで困ってしまったのかを聴き始めることからクロストークを始めてみてはいかがでしょうか?実は、これは複式・少人数だけでなく、どんなに多くの人数でも、ジグソー法でなくても言えることだと思っています。